

塩治 コミュニティセンター報

ENYA COMMUNITY CENTER NEWS

電話/0853-21-0248 Fax/0853-21-3837
メールアドレス/enya-cc@local.city.izumo.shimane.jp

No.207 [2022年12月21日発行]

塩治地区の世帯数と人口
令和4年11月末現在

世帯数	7,351世帯
人口	15,728人
(男)	7,666人
(女)	8,062人

塩治地区文化祭

11月19日(土)・20日(日)



塩治コミュニティセンターにて3年ぶりに文化祭を開催しました。コミセンで活動している教室や子どもたちの取り組んだ作品が並び、会場をにぎやかに彩りました。今回は弓原町有志の方が企画された角森雄志郎さんの遺作も展示されました。来場された方は、作品の世界観に引き込まれるように鑑賞されたり、交流のあった方は懐かしく思われたりしていたようでした。

また、両日とも天候に恵まれ、お友達やご家族と一緒にたくさんの方が来訪されました。新型コロナウイルスの感染対策をした上での開催となりましたが、ボランティアの方をはじめ、皆さまのご協力のもと終わることができました。ありがとうございました。



塩治小学校2年生 コミセン見学

9月8日(木)

塩治小学校2年生の児童が生活科の学習で塩治コミュニティセンターに見学に来てました。

児童たちはよい姿勢でセンター長の説明をしっかりと聞いていました。館内見学の時はきちんと挨拶をしながら地域の団体の活動の様子をノートに書いていました。図書室に飾ってある歴代センター長の写真に興味津々の児童もいました。

児童たちには新たな発見や気づきがたくさんあったことと思います。来館ありがとうございました。



島根大学医学部看護学科 早期地域看護実習

8月29日(月)~31日(水)

島根大学医学部看護学科の学生5名が塩治コミセンにて3日間の早期地域看護学実習を行いました。

館内の見学をしたり、地域に出かけたり、コミセン使用団体の活動に参加しながら地域の方と交流を深めていました。また、センター職員と花の寄せ植えも行い、植えたプランターは塩治小学校の卒業式や入学式で飾る予定です。

今後のご活躍を期待しています。



医療看護専門学校実習

10月7日(金)・11日(火)

医療看護専門学校の学生が10月7日に3名、11日に5名と2日に分け、塩治コミセンにて実習を行いました。

塩治コミセンの活動紹介の後、地域の方と一緒に話しながら花の寄せ植えをして交流を深めていました。植えたプランターは塩治小学校の卒業式や入学式で飾る予定です。

今後のご活躍を期待しています。



こんな事業をしました!

9月～12月は新型コロナウイルス感染症予防対策をとりながら下記の事業を行いました。多くの皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

区民ハイキング ～雲石国境ウォーク～

まちづくり部

10月20日(木)

秋晴れの空が広がる中、20名が参加して区民ハイキングに出かけ、古くから出雲と石見を結ぶ路を辿りました。

手引ヶ浦台公園、国境跡地、鶴駕駐輦碑(大正天皇巡幸の地)をバスで巡り、島津屋入口→天領島津屋口番所跡→中嶋崎→田儀農村広場まで約4.5kmのウォーキングを楽しみ、再びバスに乗って櫻井家たたら製鉄遺跡の越堂たたら跡に立ち寄りしました。

「初めて訪れた場所が多く勉強になった」との感想が聞かれ、充実の笑顔が見られました。



ふるさと探訪

まちづくり部

11月15日(火)

23名が参加して、バスで「ふるさと探訪」に出かけました。

最初に神西八幡宮を訪れ、周辺を散策しました。次に、今年4月から本稼働を開始した出雲エネルギーセンターを見学し、最後に宇賀池の堤跡から妙蓮寺古墳まで歩きました。

出雲エネルギーセンターでは、可燃ごみを焼却して発電する仕組みを説明していただき、ごみを処理する大きなクレーンが作動している様子を見ることができました。参加された皆さんは興味津々な表情でした。



アロマスプレー作り

女性部

9月15日(木)

講師に佐藤良美先生を招き、女性部の活動としては初めての「アロマスプレー作り」を開催しました。

9名が参加し、マスク用か虫除け用のどちらか1種類と手指消毒用の2種類のアロマスプレーを作りました。

アロマテラピーは、植物から採られた天然100%の精油を使い健康増進や美容に役立てていく自然療法である、ということ先生から分かりやすく説明してもらいました。

スプレーの作り方は簡単で、参加者からは「家でも作ってみたい」「アロマについて詳しく聞けて良かった」ととても好評でした。



廃食用油石けん作り

女性部

10月23日(日)

昨年同様、日曜日に開催したところ、7名が参加し、半数が初参加の方でした。

初参加の方からは「和やかな雰囲気楽しく、参加して良かった」と喜んでいただきました。皆さんが積極的に手際よく動かされたおかげで順調に進み、予定の時間よりも早く牛乳パック20本分の石けんを作り終わりました。

「廃食用油石けんは大変よく汚れが落ちるので、いつも助かっています」という感想をいただきました。



アレンジフラワー教室

女性部

11月28日(月)

講師に金山シンギ先生を招き、女性部の活動としては初めての「アレンジフラワー教室」を開催しました。

10名が参加し、トルコキキョウ、ピンボンマム、アルストロメリア、ツルバキア、ダイヤモンドリリー、ネリネ・クリスパ、センニチコウ、アカシアの8種類の花を盛大に使い、素敵な作品が完成しました。完成品の見本があり、先生も一緒に作りながらご指導をいただき、皆さんに好評でした。



こんにゃく作り講習会

シルバー部

11月29日(火)

栽培に4～5年かけて収穫した地元産のこんにゃく芋を使いこんにゃく作りをしました。こんにゃく芋は、灰汁が強く素手で芋に触ると痒くなるのでゴム手袋をはめて作業を開始しました。こんにゃくが固まるまでの時間を使い、こんにゃく芋の栽培方法やこんにゃく作りの経験談も聞きました。刺身こんにゃくにした手作りこんにゃくは、葛餅のような食感で絶品の美味しさでした。



青パト隊 防犯教室参加 11月7日(月)・8日(火)

塩冶青色防犯パトロール隊は、塩冶小学校1・2年生の防犯教室に参加しました。両日とも青パト隊員5名が参加し、青パト車両も展示して児童たちとふれあいました。今後も地域の子どもの安心・安全をサポートする見守り活動を続けていきます。



青パト隊 歳末特別警戒出動式及び街頭活動に参加 11月30日(水)

塩冶青色防犯パトロール隊は、歳末特別警戒出動式に参加しました。出動式の後には、出雲市駅前交番の協力のもと、JAメモリア出雲の駐車場をお借りして街頭活動を行いました。

昨年購入した桃太郎旗を掲げながら「犯罪被害」や「交通事故」の防止を呼びかけました。地域の皆さん、夜道は特にお気をつけください。



人権標語の展示

第35回隣保館まつり人権標語入賞作品と小中学校保護者等の作品です。1名が特選、10名が入選に選ばれました。おめでとうございます。

作品を文化祭で展示し、来館者にご覧いただきました。普段は事務室前のパーテーションに展示してありますので、コミセンにお越しの際はぜひご覧ください。



人権週間

12月4日(日)～10日(土)



昭和23(1948)年12月10日に国際連合第3回総会において「世界人権宣言」が採択されました。その日を記念し、12月10日を「人権デー」と決めました。日本では毎年、12月4日から10日までを「人権週間」と定め、全国的な人権啓発活動を行っています。

塩冶コミュニティセンターでは、昨年購入した桃太郎旗をコミセン周辺と、塩冶小学校の児童たちの目にも留まるよう、小学校の駐車場に立てました。



健康づくり活動紹介

塩冶地区では健康づくり推進員3名(深江とよ子さん、神門清美さん、福間清さん)と塩冶地区担当保健師(吉岡)が目標を立て、健康づくりに関する活動や健康情報を身近な人に広める取組をしています。

令和4年度の活動目標

- ① 健康診断、がん検診を受けましょう。
- ② 運動習慣を身につけましょう。(コロナ禍でも工夫しながら運動を続けましょう)



文化祭健康コーナーの様子

定期的な「けんしん」と、運動・食事を見直してみよう

忙しい毎日を送っていると、ついつい後回しにしてしまう「がん検診」や「健康診断」ですが、定期的にチェックし、身体の変化に気づくことが、自分に合った健康づくりに取り組む第一歩です。

また、健康な身体は生活習慣からつくられます。運動や食事などできることから気をつけてみましょう。詳しくは令和4年度出雲市健康はつらつかカレンダーをご確認ください。

出雲市すこやかライフ健康相談を利用しませんか？

栄養士・保健師・健康運動指導士が個別相談に応じます。

お問合せ：出雲市役所 健康増進課
0853-21-6979



二次元コード読み取りでスマホからがん検診情報へアクセスできます。

出典：島根県「いきいきまね2022」

今号の『えんや物語』

節分、ひな祭り、端午節や七夕など古くから今でも行われている行事がありますが、徐々に消えゆく行事もあります。今では見られなくなった行事には何かあるのでしょうか。
今号では、「むかし行われていた冬の行事」を掲載します。今でもどこかで見る事ができるのでしょうか。

えんや物語

第16号
平成14年12月発行
塩冶コミュニティセンター
文化部
著者 万代順子氏

むかし行われていた冬の行事

自然の移り変わりに命を託して生きて来た昔の人々は、いつも身近に神を感じ「祈りと感謝」の気持ちで忘れなかつたようです。

◆亥の子さん

亥の子さんは十二支の「亥の日」旧暦の十月(今の十一月)の最初の亥の日に行われた行事です。丸い石に藁綱を何本もつけ、数人の子どもがひと組になり小さい子どもから大きい子どもと列を作り、地区の家をまわります。上級生の指示で唄をうたいながら亥の子石を突いてまわるのです。玄関で「こんばんは、亥の子さんです。」と言います。家によつてはお金やお菓子をくれる所もありました。冬の夜の楽しい子ども行事でした。亥の神様は稲の神様です。稲を植えてから稔るまでは神様が見守ってください。が、刈り上げがすむと神棚に帰られる。その間に石で地を打ち鳴らし、土の中の害虫を追い出すのだと言われています。地方によつては来年播く籾種子を交換する所もあったようです。この日に炬燵を出すので火事にならないとも言われています。

唄の意味はよくわかりませんが、この頃は「亥の子さん荒れ」と言われて大変寒

い日が続きました。昭和の初め頃までは盛んに行われていました。お年寄りのみ口伝えに残っています。お年寄りのおられる家では、今でも亥の子さんに炬燵を出されるようです。

「塩冶かるた」より



亥の子さんの晩に 祝わん者は 蛇産め 子産め 角のはえた 子産め

◆なるかならんか

一月十五日の「とんどさん」で焼いた餅を入れて小豆粥を作ります。父さんが鉈で柿やみかんなど実の成る木に「なーかならんか、ならにゃ切つて捨てちゃーぞ。」と言つて切れ目をつ



成木責めの様子

けると、母さんが「なーます、なーます」と言つて、持つている粥を木の切れ目に食わせませす。寒い冬の夜、水漬をたらしながらその様子を見られた年輩の方もおられると思います。昭和の初め頃まで行われていましたが、今はまったく見られなくなりました。

「成木責め」は、勢いの良さすぎる果樹に外傷を与えることで成長を抑え、結果をより多くするための行事だったようです。

ボランティア活動お礼 ありがとうございます!!



桜樹会剪定作業
10月30日(日) 呂原桜樹会の皆さんがコミュニティセンターの生垣を剪定してくださいました。おかげ様でセンターのまわりがすっきりと整い気持ちがいいです。ありがとうございました。

第二中学校ボランティア活動
11月12日(土) 第二中学校の生徒の皆さんが塩冶コミュニティセンターのまわりや第二中学校のまわりの清掃活動をしてくれ、地域がきれいになりました。ありがとうございました。

専門部研修 11月2日(水)

今回は、大しめなわ創作館へ行ってきました。大しめなわ創作館では、出雲大社の大しめ縄と飯南町の関わりから、しめ縄用藁の栽培・作業工程についての説明を聞きました。工房内では大黒締め仕上げと藁の選別作業を見学し、職人さんからより合わせ手法を教わりました。この経験を次の事業に活かしていきたいです。



館内清掃を実施しました

11月29日、30日の2日間にかけて館内清掃を行いました。今年もコロナ禍のため利用者の皆様との清掃は中止とし、職員のみでの少人数で行いましたが、各部屋の清掃とワックスがけまでを無事に終えることができました。来年こそは利用者の皆様と一緒に清掃できることを願っています。



- 今後の予定**
- 1月 4日(水) 仕事始め
 - 1月 7日(土) 塩冶地区新年賀会
 - 1月 19日(木) 味噌作り教室
 - 1月 26日(木) アロマ石けん作り
 - 1月 医学部学生への食糧支援



コミュニティセンターホームページについて

事業のチラシはコミュニティセンターのホームページに掲載しています。どうぞご覧ください。

年末年始の業務について

12月29日(木)～1月3日(火)、コミュニティセンターは休館します。この期間は部屋の利用もできません。また、1月3日(火)は古紙回収も休止します。仕事始めは1月4日(水)です。